

## 2022年3月期 第2四半期 決算短信〔米国基準〕(連結)



2021年11月4日

上場会社名 **富士フイルムホールディングス株式会社**

上場取引所 東

コード番号 4901

URL <https://holdings.fujifilm.com/ja>

代表者 代表取締役社長・CEO

後藤 禎一

問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長

吉澤 ちさと

TEL (03)6271-1111

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期 第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 四半期純利益		当社株主帰属 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期 第2四半期	1,205,134	20.8	107,862	91.0	129,901	30.5	96,258	42.4
2021年3月期 第2四半期	997,389	△ 11.9	56,471	△ 38.6	99,569	2.1	67,606	10.6

(注) 四半期包括利益 2022年3月期 第2四半期 104,113 百万円 (27.1%) 2021年3月期 第2四半期 81,916 百万円 (364.2%)

	基本的1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	希薄化後1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期 第2四半期	240 55	239 86
2021年3月期 第2四半期	169 12	168 56

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期 第2四半期	3,659,304	2,308,756	2,290,100	62.6
2021年3月期	3,549,203	2,222,157	2,204,566	62.1

(注) 資本合計(純資産)は、P.9の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	47 50	-	52 50	100 00
2022年3月期	-	55 00	-	-	-
2022年3月期(予想)	-	-	-	55 00	110 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 当期純利益		当社株主帰属 当期純利益		1株当たり 当社株主帰属 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,510,000	14.5	220,000	33.0	240,000	1.8	175,000	△ 3.4	436 65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 「1株当たり当社株主帰属当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2021年9月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	514,625,728 株	2021年3月期	514,625,728 株
2022年3月期2Q	113,849,663 株	2021年3月期	114,823,247 株
2022年3月期2Q	400,139,492 株	2021年3月期2Q	399,741,792 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.6「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## [目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)	経営成績に関する説明	P. 2
(2)	財政状態に関する説明	P. 5
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 7
(3)	会計方針の変更	P. 7
3.	継続企業の前提に関する重要事象等	P. 7
4.	四半期連結財務諸表	P. 8
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 8
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 10
	（四半期連結損益計算書）	P. 10
	【第2四半期連結累計期間】	P. 10
	【第2四半期連結会計期間（3ヶ月）】	P. 11
	（四半期連結包括利益計算書）	P. 12
	【第2四半期連結累計期間】	P. 12
	【第2四半期連結会計期間（3ヶ月）】	P. 12
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 13
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 14
	（継続企業の前提に関する注記）	P. 14
	（セグメント情報）	P. 14
	1) 第2四半期連結累計期間	P. 14
	2) 第2四半期連結会計期間（3ヶ月）	P. 16
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P. 16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	2022年3月期 第2四半期累計		2021年3月期 第2四半期累計		増減額	増減率
国内売上高	39.1%	4,713	42.7%	4,261	452	10.6%
海外売上高	60.9%	7,338	57.3%	5,713	1,625	28.5%
売上高	100.0%	12,051	100.0%	9,974	2,077	20.8%
営業利益	9.0%	1,079	5.7%	565	514	91.0%
税金等調整前四半期純利益	10.8%	1,299	10.0%	996	303	30.5%
当社株主帰属四半期純利益	8.0%	963	6.8%	676	287	42.4%
為替レート (円/米\$)		110 円		107 円	3 円	
為替レート (円/Euro)		131 円		122 円	9 円	

当社グループの2022年3月期第2四半期累計期間における連結売上高は、メディカルシステム事業、バイオ CDMO 事業などのヘルスケア領域を中心に売上を伸ばし、12,051 億円（前年同期比 20.8%増）となりました。

営業利益は、1,079 億円（前年同期比 91.0%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は、1,299 億円（前年同期比 30.5%増）、当社株主帰属四半期純利益は 963 億円（前年同期比 42.4%増）となりました。当四半期累計期間の円為替レートは、対米ドルで 110 円、対ユーロで 131 円となりました。

## 【オペレーティングセグメント】

当社のオペレーティングセグメントは、2021 年度を初年度とする中期経営計画「VISION2023」の策定にあたり、当連結会計年度より従来の 3 事業セグメントから次のとおり 4 事業セグメントへ変更しております。

- ・ヘルスケアが当社の成長を中長期的に牽引し、その業績を明確に示すため、「ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション」を「ヘルスケア」セグメントと「マテリアルズ」セグメントに分離
- ・「ドキュメント ソリューション」が、オフィスプリントにとどまらず、幅広く事業領域を拡大し、ビジネスに革新をもたらすソリューション・サービスを提供していくことを示すため、名称を「ビジネスイノベーション」セグメントに変更
- ・当社グループ内でのシナジー創出を加速し、印刷業界へさらなる価値をグローバルに提供していくため、「ドキュメント ソリューション」に含まれるプロダクション・サービスと、「ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション」に含まれるグラフィックシステムを、「マテリアルズ」セグメントのグラフィックコミュニケーションに統合

なお、前第 2 四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。

## 【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	2022年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
ヘルスケア	3,756	2,481	1,275	51.4%
マテリアルズ	3,064	2,712	352	13.0%
ビジネスイノベーション	3,748	3,642	106	2.9%
イメージング	1,483	1,139	344	30.2%
連結合計	12,051	9,974	2,077	20.8%

## 【事業セグメント別の営業利益（△損失）】

(単位：億円)

セグメント	2022年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
ヘルスケア	470	186	284	152.5%
マテリアルズ	392	267	125	46.7%
ビジネスイノベーション	255	288	△33	△11.3%
イメージング	124	△21	145	—
全社費用及び セグメント間取引消去	△162	△155	△7	—
連結合計	1,079	565	514	91.0%

## 「ヘルスケア部門」

ヘルスケア部門の連結売上高は、3,756億円（前年同期比51.4%増）となりました。

当部門の営業利益は、470億円（前年同期比152.5%増）となりました。

メディカルシステム事業では、株式会社日立製作所の画像診断関連事業の買収が本年3月31日に完了し、当該事業を継承した「富士フイルムヘルスケア株式会社」が新しいグループ会社としてスタートしました。売上は、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）からの市場の回復と、COVID-19関連に有用な製品の需要拡大などにより、大幅に増加しました。X線画像診断分野では、日本でのCOVID-19関連の需要増を取り込んだことに加え、アジア・欧州を中心に超軽量移動型デジタルX線撮影装置「FUJIFILM DR CALNEO AQRO」及び「FUJIFILM DR CALNEO Go PLUS」の旺盛な需要が継続し、売上が好調に推移しました。超音波診断分野では、POC（Point of Care）向け超音波診断装置「Sonosite PX」や据置型超音波診断装置「ARIETTA750」の販売が好調に推移しました。さらに、前年度にCOVID-19流行下で営業活動の制限を受けていた日米を中心とした市場の回復などにより、売上が増加しました。医療IT分野では、医用画像情報システム（PACS）「SYNAPSE」や3次元画像解析システム（3D）「SYNAPSE VINCENT」を中心としたシステム・サービス販売が日本や中国、欧州を中心に好調に推移しました。2021年4月にSYNAPSE VINCENT向けにAI技術を活用した新アプリケーションを発売して以来、医療画像診断支援や医療現場のワークフロー支援に活用できるAI技術の開発に、より一層力を入れて取り組んでいます。内視鏡分野では、特殊光観察が可能な「7000システム」などの販売が米国・欧州を中心に伸長しました。体外診断（IVD）分野では、血液生化学検査「富士ドライケム」機器・スライドや、富士フイルム和光純薬株式会社の生化学試薬の販売が好調で、売上が大幅に増加しました。CT・MRI分野では、新たに製品ラインアップに加わった富士フイルムヘルスケア株式会社の製品を富士フイルム株式会社の販売チャネルにのせてインドなどで拡販したことや、COVID-19関連の需要増に伴い、売上が増加しました。

バイオCDMO事業では、米国拠点でのCOVID-19ワクチン候補の原薬製造が寄与するなど、売上が大幅に増加しました。事業成長を一段と加速させるため、総額約900億円を投じて欧米拠点に大型設備投資を行うことを2021年6月に決定しました。今後、需要が増加する最先端医療分野の遺伝子治療薬などの原薬製造能力を大幅に向上させます。なお、当増強設備の稼働は、2023年後半を予定していません。

ライフサイエンス事業では、FUJIFILM Irvine Scientific, Inc.（米国）が展開するCOVID-19ワクチン・治療薬製造向けの培地などの販売が好調に推移し、売上が増加しました。2021年9月に再生医療ベンチャーCynata Therapeutics Limited（以下、Cynata社）と、両社の強み・リソースを最大限に活用できる協業の枠組みで基本合意したことを発表しました。本合意に基づき、当社は、Cynata社が開発を進めるiPS細胞由来の再生医療製品のパイプラインを対象に、治験薬製造及び商業生産を受託する予定です。

医薬品事業では、抗インフルエンザウイルス薬「アビガン®錠」（一般名：ファビピラビル）の海外向け販売増などにより、売上が増加しました。2021年9月には、ライフサイエンス領域の事業ポートフォリオ最適化の一環として、富士フイルム富山化学株式会社の放射性医薬品事業をペプチドリーム株式会社へ譲渡することを決定しました。今後は、現行パイプラインの開発を進めるとともに、ペニシリンなどの抗菌剤の製造・販売、製造受託に加え、核酸医薬品や次世代の新型コロナワクチン候補も含むmRNAワクチンのプロセス開発・製造受託などの受託ビジネスに注力していきます。



コンシューマーヘルスケア事業では、「メタバリア EX」などサプリメントの販売が好調だったことに加え、化粧品も新製品が堅調に推移し、全体の売上が増加しました。2021年7月には、「ASTALIFT（アスタリフト）」ブランドから、シンプルなステップで効果的なスキンケアを実現するシリーズ「ASTALIFT Opme（アスタリフト オプミー）」を新たに展開することを発表しました。2021年9月1日にはシリーズ第一弾として、化粧水・美容液・乳液・クリームの4つの役割をもつオールインワンタイプの高保湿持続ジェル「アスタリフト オプミー」を発売しました。今後も顧客のニーズを捉えた独自性の高い製品を提供し、人々の美容と健康に貢献していきます。

#### 「マテリアルズ部門」

マテリアルズ部門の連結売上高は、3,064億円（前年同期比13.0%増）となりました。

当部門の営業利益は、392億円（前年同期比46.7%増）となりました。

電子材料事業では、半導体需要の増加に伴い、フォトレジストやCMPスラリー、ポストCMPクリーナー、ポリイミドなど幅広い製品群で販売が好調に推移し、地域別では、特に中国市場で売上が増加しました。今後も拡大が予想される半導体市場において、当社は先端プロセス用材料を軸として更なる事業成長を図るとともに、5G/IoT時代における社会価値創造に貢献していきます。

ディスプレイ材料事業では、モニター、タブレット、TV及びスマートフォンの堅調な需要を受けて、各種の高機能フィルム製品の販売が好調に推移し、全体の売上が増加しました。

産業機材事業では、スマートフォン等の需要増を取り込んだプレススケールの販売が好調に推移したことに加え、非破壊検査用機器・材料で、北米、中国の販売が回復基調にあり、売上が増加しました。

ファインケミカル事業では、COVID-19流行拡大の影響を受けていた大学や企業の研究活動が回復基調にあり、環境分析や核酸合成等のケミカル試薬が伸長するとともに、各産業の景気回復に合わせ化成品も販売を伸ばし、売上が増加しました。

記録メディア事業では、COVID-19流行下でデータアーカイブへの投資が抑制されたことなどを背景に落ち込んでいたテープ需要が徐々に回復傾向にあり、売上が増加しました。2021年9月7日には、大容量データのバックアップやアーカイブに最適な磁気テープストレージメディア規格「LTO Ultrium」の第9世代に対応した「FUJIFILMLTO Ultrium9 データカートリッジ」を発売しました。磁気テープは、大容量データを低コストで安全に長期保管できることに加え、ハードディスクドライブに比べてデータ保管における消費電力により発生するCO<sub>2</sub>の排出量を95%削減でき<sup>※1</sup>、環境負荷を大幅に低減する製品として注目されています。今後も顧客ニーズに対応する高性能・高品質のメディアやサービスの開発・提供を通じて、更なる事業成長を図るとともに、社会課題の解決に取り組んでいきます。

※1：100PB（ペタバイト）のデータを10年間HDDに保管した場合と磁気テープに保管した場合を比較し、保管で発生するCO<sub>2</sub>の排出量を95%（約2,400トン）削減できます。（出典：Brad Johns Consulting, LLC “Improving Information Technology Sustainability with Modern Tape Storage”）

グラフィックコミュニケーション事業では、刷版材料分野において、東南アジアなどでCOVID-19流行の影響を受けていますが、オンラインでの商談を積極的に活用するなどして販売を伸ばし、売上が増加しました。2021年7月1日に富士フイルム株式会社のグラフィックシステム事業部と富士フイルムビジネスイノベーション株式会社のグラフィックコミュニケーションサービス事業本部を統合しました。これにより、双方の販売力や技術・製品力を組み合わせることで、アナログからデジタルまでのワンストップソリューションを展開しています。デジタル印刷分野では、B2枚葉型インクジェット印刷機で世界最速<sup>※2</sup>の毎時5,400枚の印刷スピードを実現した「Jet Press 750S High Speed Model」を発売しました。プロダクション関連商品の新たなブランド「Revoria」では、国内で2021年7月30日にハイエンドプロダクションカラープリンター「Revoria Press PC1120」を発売しました。今後もこのような独自の先進技術を用いた画期的な製品を開発・提供することで、事業成長を図るとともに、業界のデジタル化を牽引していきます。

※2：2021年9月時点。富士フイルム調べ。

インクジェット事業では、産業用インクジェットヘッドの販売が欧州、中国の建材印刷市場での需要増により好調に推移しました。インクの販売は、ホーム&オフィス市場向け染料を中心に販売を伸ばし、全体で売上が増加しました。今後もインクジェット市場のニーズにあわせたグローバルな生産体制を構築し、事業成長を一段と加速させていきます。

## 「ビジネスイノベーション部門」

ビジネスイノベーション部門の連結売上高は、3,748億円（前年同期比2.9%増）となりました。当部門の営業利益は、255億円（前年同期比11.3%減）となりました。

オフィスソリューション事業では、オフィスプロダクト分野で、足元ではアジアパシフィック地域でのロックダウンや半導体等の部品供給の逼迫を背景とした機器の供給・設置遅延などの影響を受けましたが、上期全体ではCOVID-19流行拡大影響からノンハードの売上回復などにより、売上が増加しました。「FUJIFILM」ブランドによるグローバル展開においては、2021年4月にはデザインを一新し、セキュリティ機能を強化したデジタルカラー複合機及びプリンター「Apeos」の新製品を発売しました。また、富士フイルム株式会社の海外拠点や有望な代理店を活用して、欧州や中東、中南米などでの販売を目指しており、今後、新規のOEM供給も含め、グローバル展開を加速していきます。

ビジネスソリューション事業は、国内で自治体向けのビジネスが増加したことや、海外を中心にBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）事業が好調に推移し、前年度を上回る売上となりました。今後も新しいソリューション・サービスメニューを順次提供し、顧客の多様化する働き方やDXを通じた経営課題の解決を支援していくとともに、当領域でのさらなる成長を目指します。

## 「イメージング部門」

イメージング部門の連結売上高は、1,483億円（前年同期比30.2%増）となりました。

当部門の営業利益は、124億円となりました。

コンシューマーイメージング分野では、インスタントフォトシステムや、米国リテーラー向けのドライプリント機器及び材料の販売が好調に推移し、売上が増加しました。撮影したその場で写真をプリントして楽しめるインスタントフォトシステムは、デバイス・フィルム共に販売が好調、2021年4月に発売したミニフォーマットフィルムに対応した新エントリーモデル「instax mini 40」は、トレンドに左右されないクラシックなカメラデザインが市場に高く評価されました。今後も多様化する顧客のニーズに応え、便利で付加価値の高い製品・サービスを提供するとともに、「撮る、残す、飾る、そして贈る」という写真本来の価値を世界中で伝え続けていきます。

プロフェッショナルイメージング分野では、ラージフォーマットによる最高画質を小型ボディで楽しめるミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX100S」が世界各地で高い評価を受け、新規ユーザーを取り込み、販売好調が継続しました。また、2021年9月29日にミラーレスデジタルカメラ「GFXシリーズ」の最新モデルとして、「FUJIFILM GFX50S II」を発売しました。今後も特長ある魅力的な製品を供給して市場の活性化を図るとともに、写真を撮る喜びを提供していきます。放送・シネマ用レンズの販売は、COVID-19流行拡大による需要の減少影響から回復基調にあり、売上が増加しました。遠望監視やマシンビジョンなど監視計測領域も好調で、前年度を上回る売上となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

2022年3月期第2四半期末は、現金及び現金同等物の増加などにより、前期末（2021年3月31日）に比べ、資産合計が1,101億円増の3兆6,593億円となりました。負債は235億円増の1兆3,505億円となりました。株主資本は855億円増の2兆2,901億円となりました。この結果、流動比率は前期末に比べ9.3ポイント減の201.1%、負債比率は1.2ポイント増の59.0%、株主資本比率は0.5ポイント増の62.6%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

## 【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,478	1,946	△468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△833	△622	△211
財務活動によるキャッシュ・フロー	△280	△745	465

2022年3月期第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、1,478億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入などにより、833億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、645億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、280億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の2022年3月期第2四半期末残高は、前期末(2021年3月31日)に比べ387億円増加し、4,335億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明  
(2022年3月期の連結業績予想)

(単位：億円)

	前回発表予想(A) (2021年8月12日 発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績 (2021年3月期)
売上高	25,000	25,100	100	0.4%	21,925
営業利益	2,000	2,200	200	10.0%	1,655
税金等調整前 当期純利益	2,200	2,400	200	9.1%	2,359
当社株主帰属 当期純利益	1,600	1,750	150	9.4%	1,812
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	400.18円	436.65円	36.47円	9.1%	453.28円
ROE (%)	7.1%	7.7%	-	0.6ポイント	8.7%
為替レート (円/米\$)	109円	109円	-	-	106円
(円/Euro)	132円	132円	-	-	124円

注)「1株当たり当社株主帰属当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、前回発表予想では2021年6月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を、今回修正予想では2021年9月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)をそれぞれ使用しております。

2022年3月期業績は、ヘルスケア、高機能材料を中心とした好調な業績を受けて、連結業績予想を上方修正します。連結売上高は2兆5,100億円(前回比0.4%増)、営業利益は2,200億円(前回比10.0%増)、税金等調整前当期純利益は2,400億円(前回比9.1%増)、当社株主帰属当期純利益は1,750億円(前回比9.4%増)を予想しております。

通期での対米ドル円為替レートを109円、対ユーロ円為替レートを132円で想定しております。

(2022年3月期の中間配当の増配及び年間配当予想の修正)

2022年3月期の第2四半期末配当を足元の好調な業績を受けて前回予想の中間配当1株当たり50円から55円にすることを決定しました。また、通期連結業績予想の修正に伴い、中間配当を含めた2022年3月期の年間配当予想を1株当たり100円から110円(中間配当55円、期末配当55円)に修正します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。



(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## (1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結会計期間末 2021年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2021年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]				
流動資産				
現金及び現金同等物		433,475	394,795	38,680
受取債権				
営業債権		520,685	574,319	△ 53,634
リース債権		44,858	51,644	△ 6,786
関連会社等に対する債権		2,351	2,462	△ 111
貸倒引当金		△ 21,201	△ 22,707	1,506
		546,693	605,718	△ 59,025
棚卸資産		462,980	417,662	45,318
前払費用及びその他の流動資産		137,660	89,201	48,459
流動資産 合計		1,580,808	1,507,376	73,432
投資及び長期債権				
関連会社等に対する投資及び貸付金		37,724	31,849	5,875
投資有価証券		125,462	111,650	13,812
長期リース債権		58,521	62,068	△ 3,547
その他の長期債権		23,989	25,426	△ 1,437
貸倒引当金		△ 2,994	△ 3,167	173
投資及び長期債権 合計		242,702	227,826	14,876
有形固定資産				
土地		104,517	105,764	△ 1,247
建物及び構築物		713,014	718,513	△ 5,499
機械装置及びその他の有形固定資産		1,471,891	1,474,840	△ 2,949
建設仮勘定		92,400	63,913	28,487
		2,381,822	2,363,030	18,792
減価償却累計額		△ 1,727,808	△ 1,727,779	△ 29
有形固定資産 合計		654,014	635,251	18,763
その他の資産				
オペレーティング・リース使用权資産		77,654	78,203	△ 549
営業権		776,974	804,199	△ 27,225
その他の無形固定資産		154,849	128,496	26,353
その他		172,303	167,852	4,451
その他の資産 合計		1,181,780	1,178,750	3,030
資産 合計		3,659,304	3,549,203	110,101

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結会計期間末 2021年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2021年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]				
流動負債				
社債及び短期借入金		113,901	63,729	50,172
支払債務				
営業債務		220,729	217,308	3,421
設備関係債務		23,632	21,157	2,475
関連会社等に対する債務		1,632	1,455	177
		245,993	239,920	6,073
未払法人税等		23,402	24,527	△ 1,125
未払費用		192,164	197,519	△ 5,355
短期オペレーティング・リース負債		29,730	28,938	792
その他の流動負債		180,758	161,651	19,107
流動負債 合計		785,948	716,284	69,664
固定負債				
社債及び長期借入金		385,196	439,351	△ 54,155
退職給付引当金		29,515	30,090	△ 575
長期オペレーティング・リース負債		52,870	54,946	△ 2,076
その他の固定負債		97,019	86,375	10,644
固定負債 合計		564,600	610,762	△ 46,162
負債 合計		1,350,548	1,327,046	23,502
[純資産の部]				
株主資本				
資本金		40,363	40,363	-
普通株式				
発行可能株式総数 800,000,000株				
発行済株式総数 514,625,728株				
利益剰余金		2,776,330	2,702,760	73,570
その他の包括利益(△損失)累積額		△ 44,981	△ 52,836	7,855
自己株式		△ 481,612	△ 485,721	4,109
株主資本 合計		2,290,100	2,204,566	85,534
非支配持分		18,656	17,591	1,065
純資産 合計		2,308,756	2,222,157	86,599
負債・純資産 合計		3,659,304	3,549,203	110,101

(注)その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	2021年9月30日現在	2021年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	5	1	4
為替換算調整額	39,668	32,973	6,695
年金負債調整額	△ 84,714	△ 86,038	1,324
デリバティブ未実現損益	60	228	△ 168

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第2四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	2022年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日		2021年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月30日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
	%		%			%
売上高	100.0	1,205,134	100.0	997,389	207,745	20.8
売上原価	58.0	698,781	60.2	600,153	98,628	16.4
売上総利益	42.0	506,353	39.8	397,236	109,117	27.5
営業費用						
販売費及び一般管理費	26.7	322,714	26.6	266,356	56,358	21.2
研究開発費	6.3	75,777	7.5	74,409	1,368	1.8
営業利益	33.0	398,491	34.1	340,765	57,726	16.9
	9.0	107,862	5.7	56,471	51,391	91.0
営業外収益及び費用(△)						
受取利息及び配当金		2,446		1,903	543	
支払利息		△ 1,093		△ 1,105	12	
為替差損益・純額		△ 853		△ 3,712	2,859	
持分証券に関する損益・純額		13,881		31,225	△ 17,344	
その他損益・純額		7,658		14,787	△ 7,129	
税金等調整前四半期純利益	1.8	22,039	4.3	43,098	△ 21,059	△ 48.9
	10.8	129,901	10.0	99,569	30,332	30.5
法人税等	3.0	36,235	2.9	28,602	7,633	26.7
持分法による投資損益	0.4	4,714	△ 0.3	△ 2,651	7,365	-
四半期純利益	8.2	98,380	6.8	68,316	30,064	44.0
控除:非支配持分帰属損益	△ 0.2	△ 2,122	0.0	△ 710	△ 1,412	198.9
当社株主帰属四半期純利益	8.0	96,258	6.8	67,606	28,652	42.4

【第2四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結会計期間		2021年3月期第2四半期 連結会計期間		増減 (△は減少)	
		自 2021年 7月 1日 至 2021年 9月30日		自 2020年 7月 1日 至 2020年 9月30日		増減額	増減率
		%		%			%
売上高		100.0	622,481	100.0	541,119	81,362	15.0
売上原価		59.2	368,794	61.2	331,315	37,479	11.3
売上総利益		40.8	253,687	38.8	209,804	43,883	20.9
営業費用							
販売費及び一般管理費		26.3	163,525	25.1	135,713	27,812	20.5
研究開発費		6.2	38,618	7.0	38,010	608	1.6
営業利益		32.5	202,143	32.1	173,723	28,420	16.4
営業利益		8.3	51,544	6.7	36,081	15,463	42.9
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金			723		507	216	
支払利息			△ 559		△ 523	△ 36	
為替差損益・純額			△ 296		△ 2,113	1,817	
持分証券に関する損益・純額			△ 955		17,680	△ 18,635	
その他損益・純額			1,660		5,738	△ 4,078	
税金等調整前四半期純利益		0.1	573	3.9	21,289	△ 20,716	△ 97.3
税金等調整前四半期純利益		8.4	52,117	10.6	57,370	△ 5,253	△ 9.2
法人税等		2.1	13,197	2.9	15,683	△ 2,486	△ 15.9
持分法による投資損益		0.1	1,171	△ 0.2	△ 1,044	2,215	-
四半期純利益		6.4	40,091	7.5	40,643	△ 552	△ 1.4
控除: 非支配持分帰属損益		△ 0.1	△ 1,140	△ 0.1	△ 538	△ 602	111.9
当社株主帰属四半期純利益		6.3	38,951	7.4	40,105	△ 1,154	△ 2.9



(四半期連結包括利益計算書)

【第2四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別 2022年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月 30日	2021年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月 30日	増減 (△は減少)
四半期純利益	98,380	68,316	30,064
その他の包括利益(△損失) - 税効果調整後			
有価証券未実現損益変動額	4	△ 9	13
為替換算調整額	6,785	9,242	△ 2,457
年金負債調整額	1,295	5,254	△ 3,959
デリバティブ未実現損益変動額	△ 168	135	△ 303
合計	7,916	14,622	△ 6,706
四半期包括利益	106,296	82,938	23,358
控除: 非支配持分帰属四半期包括損益	△ 2,183	△ 1,022	△ 1,161
当社株主帰属四半期包括利益	104,113	81,916	22,197

【第2四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別 2022年3月期第2四半期 連結会計期間 自 2021年 7月 1日 至 2021年 9月 30日	2021年3月期第2四半期 連結会計期間 自 2020年 7月 1日 至 2020年 9月 30日	増減 (△は減少)
四半期純利益	40,091	40,643	△ 552
その他の包括利益(△損失) - 税効果調整後			
有価証券未実現損益変動額	5	△ 6	11
為替換算調整額	883	1,921	△ 1,038
年金負債調整額	877	3,931	△ 3,054
デリバティブ未実現損益変動額	△ 12	△ 41	29
合計	1,753	5,805	△ 4,052
四半期包括利益	41,844	46,448	△ 4,604
控除: 非支配持分帰属四半期包括損益	△ 1,112	△ 965	△ 147
当社株主帰属四半期包括利益	40,732	45,483	△ 4,751

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結累計期間	2021年3月期第2四半期 連結累計期間	増減
		自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月 30日	自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月 30日	(△は減少)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		98,380	68,316	30,064
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		65,017	60,137	4,880
(2) 持分証券に関する損益		△ 13,881	△ 31,225	17,344
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		△ 4,463	2,919	△ 7,382
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の減少		57,891	65,334	△ 7,443
棚卸資産の増加		△ 47,269	△ 26,238	△ 21,031
営業債務の増加・減少(△)		2,934	△ 17,453	20,387
前払費用及びその他の流動資産の増加(△)・減少		△ 20,069	55,971	△ 76,040
未払法人税等及びその他負債の増加・減少(△)		10,754	△ 3,058	13,812
(5) その他		△ 1,477	19,855	△ 21,332
小計		49,437	126,242	△ 76,805
営業活動によるキャッシュ・フロー		147,817	194,558	△ 46,741
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 58,380	△ 49,044	△ 9,336
2. ソフトウェアの購入		△ 17,597	△ 9,700	△ 7,897
3. 投資有価証券の売却・満期償還		2,778	4,431	△ 1,653
4. 投資有価証券の購入		△ 2,058	△ 433	△ 1,625
5. 定期預金の増加(純額)		△ 2,977	△ 1,807	△ 1,170
6. 関連会社投融资及びその他貸付金の増加		△ 339	△ 2,540	2,201
7. その他		△ 4,752	△ 3,077	△ 1,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 83,325	△ 62,170	△ 21,155
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		1,046	2,574	△ 1,528
2. 長期債務の返済額		△ 5,817	△ 14,574	8,757
3. 満期日が3ヵ月以内の短期債務の増加(純額)		526	2,813	△ 2,287
4. 満期日が3ヵ月超の短期債務の返済額		-	△ 50,000	50,000
5. 親会社による配当金支払額		△ 20,990	△ 18,986	△ 2,004
6. 非支配持分への配当金支払額		△ 136	△ 89	△ 47
7. 自己株式の取得		△ 18	△ 7	△ 11
8. 非支配持分との資本取引その他		△ 2,583	3,726	△ 6,309
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 27,972	△ 74,543	46,571
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		2,160	3,597	△ 1,437
V. 現金及び現金同等物純増加		38,680	61,442	△ 22,762
VI. 現金及び現金同等物期首残高		394,795	396,091	△ 1,296
VII. 現金及び現金同等物四半期末残高		433,475	457,533	△ 24,058

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 1) 第2四半期連結累計期間

## ① 事業別セグメント情報

## 【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月 30日		2021年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月 30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
ヘルスケア :							
外部顧客に対するもの		31.2	375,592	24.9	248,057	127,535	51.4
セグメント間取引			45		59	△ 14	-
計			375,637		248,116	127,521	51.4
マテリアルズ :							
外部顧客に対するもの		25.4	306,441	27.2	271,176	35,265	13.0
セグメント間取引			622		584	38	-
計			307,063		271,760	35,303	13.0
ビジネスイノベーション :							
外部顧客に対するもの		31.1	374,788	36.5	364,258	10,530	2.9
セグメント間取引			1,826		1,144	682	-
計			376,614		365,402	11,212	3.1
イメージング :							
外部顧客に対するもの		12.3	148,313	11.4	113,898	34,415	30.2
セグメント間取引			1,113		936	177	-
計			149,426		114,834	34,592	30.1
セグメント間取引消去			△ 3,606		△ 2,723	△ 883	-
連結 合計		100.0	1,205,134	100.0	997,389	207,745	20.8

## 【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月 30日		2021年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月 30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
ヘルスケア		12.5	47,009	7.5	18,618	28,391	152.5
マテリアルズ		12.8	39,168	9.8	26,706	12,462	46.7
ビジネスイノベーション		6.8	25,493	7.9	28,747	△ 3,254	△ 11.3
イメージング		8.3	12,401	△ 1.9	△ 2,146	14,547	-
計			124,071		71,925	52,146	72.5
全社費用及びセグメント間取引消去			△ 16,209		△ 15,454	△ 755	-
連結 合計		9.0	107,862	5.7	56,471	51,391	91.0

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

ヘルスケア :

メディカルシステム機材、バイオ医薬品製造開発受託、  
細胞(再生医療)・培地・試薬等の創薬支援材料、医薬品、化粧品・サプリメント等

マテリアルズ :

電子材料、ディスプレイ材料、ファインケミカル、産業機材、記録メディア、  
グラフィックコミュニケーションシステム機材、インクジェット機材等

ビジネスイノベーション :

デジタル複合機、ソリューション・サービス等

イメージング :

インスタントフォトシステム、カラーフィルム、  
写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、デジタルカメラ、光学デバイス等

## ②所在地別セグメント情報

## 【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結累計期間		2021年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月 30日		自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月 30日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
日本 :							
外部顧客に対するもの		44.9	541,934	48.3	481,204	60,730	12.6
セグメント間取引			261,249		205,363	55,886	-
計			803,183		686,567	116,616	17.0
米州 :							
外部顧客に対するもの		19.7	237,436	18.2	181,916	55,520	30.5
セグメント間取引			44,042		28,869	15,173	-
計			281,478		210,785	70,693	33.5
欧州 :							
外部顧客に対するもの		12.4	149,182	11.1	110,509	38,673	35.0
セグメント間取引			7,849		5,166	2,683	-
計			157,031		115,675	41,356	35.8
アジア及びその他 :							
外部顧客に対するもの		23.0	276,582	22.4	223,760	52,822	23.6
セグメント間取引			114,069		115,342	△ 1,273	-
計			390,651		339,102	51,549	15.2
セグメント間取引消去			△ 427,209		△ 354,740	△ 72,469	-
連結 合計		100.0	1,205,134	100.0	997,389	207,745	20.8

## 【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結累計期間		2021年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月 30日		自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月 30日		増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
日本		7.0	55,873	3.6	24,435	31,438	128.7
米州		9.6	26,965	2.8	6,002	20,963	349.3
欧州		6.2	9,662	3.0	3,482	6,180	177.5
アジア及びその他		5.4	20,903	6.9	23,399	△ 2,496	△ 10.7
セグメント間取引消去			△ 5,541		△ 847	△ 4,694	-
連結 合計		9.0	107,862	5.7	56,471	51,391	91.0

## 【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月 30日		2021年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月 30日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		39.1	471,286	42.7	426,098	45,188	10.6
海外 :							
米州		20.8	250,622	18.7	186,028	64,594	34.7
欧州		12.7	153,577	11.4	114,106	39,471	34.6
アジア及びその他		27.4	329,649	27.2	271,157	58,492	21.6
計		60.9	733,848	57.3	571,291	162,557	28.5
連結 合計		100.0	1,205,134	100.0	997,389	207,745	20.8

(注)【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

## 2) 第2四半期連結会計期間(3ヶ月)

## 【事業セグメント別売上高】

単位 百万円

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結会計期間 自 2021年 7月 1日 至 2021年 9月 30日		2021年3月期第2四半期 連結会計期間 自 2020年 7月 1日 至 2020年 9月 30日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
ヘルスケア		32.3	201,390	25.5	137,825	63,565	46.1
マテリアルズ		25.2	156,640	26.6	143,880	12,760	8.9
ビジネスイノベーション		30.3	188,725	36.1	195,355	△ 6,630	△ 3.4
イメージング		12.2	75,726	11.8	64,059	11,667	18.2
連結 合計		100.0	622,481	100.0	541,119	81,362	15.0

(注)各区分に属する主要な製品の名称

ヘルスケア :	メディカルシステム機材、バイオ医薬品製造開発受託、 細胞(再生医療)・培地・試薬等の創薬支援材料、医薬品、化粧品・サプリメント等
マテリアルズ :	電子材料、ディスプレイ材料、ファインケミカル、産業機材、記録メディア、 グラフィックコミュニケーションシステム機材、インクジェット機材等
ビジネスイノベーション :	デジタル複合機、ソリューション・サービス等
イメージング :	インスタントフォトシステム、カラーフィルム、 写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、デジタルカメラ、光学デバイス等

## 【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2022年3月期第2四半期 連結会計期間 自 2021年 7月 1日 至 2021年 9月 30日		2021年3月期第2四半期 連結会計期間 自 2020年 7月 1日 至 2020年 9月 30日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		40.0	248,975	41.3	223,231	25,744	11.5
海外 :							
米州		20.5	127,742	19.9	107,587	20,155	18.7
欧州		12.9	80,530	11.9	64,494	16,036	24.9
アジア及びその他		26.6	165,234	26.9	145,807	19,427	13.3
計		60.0	373,506	58.7	317,888	55,618	17.5
連結 合計		100.0	622,481	100.0	541,119	81,362	15.0

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。